

沼間小学校区放課後児童クラブ及び沼間親子遊びの場の新築に関する市民意見募集(パブリックコメント)の実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

1. 意見募集の期間 2022年(令和4年)10月1日(土)～10月31日(月)
2. 意見の数 23件
3. 意見提出人数 14人(書面:12人、メール:2人)

4. 意見内容の概要

区分		件数
1	施設全体や施設周辺の設備について	7件
2	放課後児童クラブの施設・設備について	3件
3	親子遊びの場の施設・設備について	8件
4	施設の利用について	2件
5	その他の意見	3件
合計		23件

5. 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、素案を修正するもの	1件
□	意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	9件
■	意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの	4件
▲	意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	4件
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	5件
合計		23件

6. 意見内容の概要と市の対応

意見概要	整理番号	意見内容	意見数	対応区分	対応区分の理由
1	1	利用する方の多くは、車でのお迎えが多く見受けられるが、周辺の道は狭く、学校周辺の路駐などが目立ちそうだが駐車場などを設ける予定はあるか。	1件	▲	従来と同様に駐車場は設置いたしません。必要な場合は、近くの有料駐車場を利用いただくよう案内いたします。
1	2	安全な施設ができればいいと思う。	1件	□	現計画で対応済です。
1	3	新施設は、[放課後児童クラブ及び親子遊びの場]としてはこれまで実施された説明会や審議会等の意見がよく反映された一多くの観点から、配慮がなされた一良好な新築案になっていると感じる。 しかしながら、この新施設の建設場所は、これまで沼間小学校のプールとしてイ.沼間小学校の水泳授業ロ.地域住民の為の通年の災害避難時の[飲料用・生活用・防火用]水としての任を担う貯水槽の役割を担っていた。 イについては、市内5校の小学校水泳授業を交流センター内の温水プールを用いて通年で割り振ることで結着がついているようだ。 ならばロについても今後の補填が計画されているか。例えば、プールを壊した後、新施設の地下もしくは[庭や通路]の下や側面に災害時に役立つ貯水槽を造成する計画になっているか。 沼間小学校にはすでに校門近くに5基のマンホールトイレが設置されており、その水はプールより引くことになっており、災害時の飲料水が枯渇した場合は、プールの水に薬剤を投入して、飲料水に変えることのできる薬剤の保管もなされている。 新施設の建設に伴ってロの機能が頓挫することは許されない！！ ロについての代替案を地域住民に示し、その説明会を早急に開催してほしい。 ロについての道筋をつけない中で新施設の建設は、しないでほしい。	2件	◆	沼間小学校は、防災拠点及び避難所ですが、放課後児童クラブは、対象外であるため参考意見といたします。 なお、防災安全課及び消防本部に確認済みであり、小学校のプール廃止が決定した時点で、災害時におけるマンホールトイレを含む生活用水については、近隣の河川や防火水槽の水を活用することで検討を進めており、今回の施設において防災設備の整備を新設しなくても代替えが可能であると考えていること、及び消防水利は学校北側に防火水槽が配置されているためプールを廃止したとしても足りているとの見解を得ています。
1	4	断熱を考えたエコな新築導入を強く希望する。	1件	□	現計画で対応済です。
1	5	施設に太陽光パネルや蓄電池等を導入することは、逗子市が今年1月に「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」を宣言し、具体的な施策に運用していく上で必要なことだと思う。 そのうえで、建物自体をどれだけ断熱効果のある施設にするかに充分配慮した施設にしていきたい。 4月に、ゼロエミッション逗子が主催(市が協力)した、講演会で、歌川学さん(産業技術総合研究所安全科学部門持続可能システム評価研究グループ、主任研究員)も話していたが、建物の新築の際に断熱を意識した設計・建築をすることで、冷房暖房などの電力消費が格段に変わる。 建築費用はそれだけかさむが、そのあとの消費電力の差異を考えると十分回収できると思う。	1件	□	現計画で対応済です。
1	6	太陽光発電や蓄電池については、既に設計の予定に入っているが、施設の屋根だけでなく、敷地スペース全体を覆うような設計にすることで、太陽光発電の発電量も増加し、蓄電分を他の施設に還元することも可能だと思う。	1件	■	現時点では太陽光発電や蓄電池の規模については決定していないため、導入時に検討いたします。
2	7	台所部分が事務室内にあるが、あそび場と隔離されていると、児童の様子を見る指導員の目が少なくなるため、台所の位置を対面式にするなどの検討をお願いしたい。	1件	○	バリアフリー懇話会においても同意見があったため、その意見を踏まえ、レイアウトを変更します。
2	8	ゆったりと静かにすごしたい子たちが気軽にのんびりとすごせる空間があったらいいと思う。 図書館のように静かに過ごす場所をつくって、そこで本を読んだり、絵をかいたり、宿題をしたり、ボードゲームをしたり、大きなソファで少しゴロンとできたり。	1件	□	放課後児童クラブ内には、「まなび場」「図書コーナー」「テラス」を配置しており、のんびりとすごせる空間を設置します。
2	9	小学校の敷地内に学童が新設されれば、放課後に校外に出ることなく学童に移動できるので保護者の安心につながると思う。	1件	□	現計画で対応済です。

3	10	小学校に小さな子どもが来るのは危ないと思う。授業でボールを使うことがあり、休み時間には、バスケなどボールを使って遊んでいるため、よくプールの方向に飛んでいくこともある。お互いにケガをしてからでは遅いので、お互いに安心安全に遊べるように工夫をする必要があると思う。双方が、おもいきり遊べる施設作りをしてもらいたい。	1件	□	親子遊びの部屋及び園庭は、校庭の反対側に設置し、フェンスも設置する計画です。
3	11	施設内は、子どもは走り回ったりし、よく転ぶため、床は転んでも頭を打っても大丈夫なようにしてほしい。子ども目線で、ドア等も作ってほしい。	1件	■	安全に配慮した設計としていますが、過剰な安全対策は不要と考えています。
3	12	親子遊びの場としては校門からプールの場所までの距離が長いので、ベビーカーでも歩きやすいように工夫が必要だと思う。(案内板を設置する、裏門から入れるようにする、など)	1件	□	現計画で対応済です。
3	13	ほっとスペースのベビーカー置き場を広めにつくって頂きたい。	1件	□	現計画で対応済です。
3	14	ほっとスペースのオムツ替えの出来る所の他に、大人のトイレにもオムツ替えの台を入れて頂きたい。	1件	□	現計画で対応済です。
3	15	げた箱は長ぐつ等の長いくつも入るようなスペースを入れて頂きたい。	1件	▲	通常サイズのくつが入る下足入れを設置する予定です。長ぐつ等の長いくつは、玄関内(屋内)に置いていただくよう計画しています。
3	16	現沼間ほっとスペースのようなお砂場もあるとありがたい。	2件	■	現時点では計画していませんが、必要に応じて対応していきます。
4	17	学童 ほっとスペースの利用時間外は一般の人も利用できる、レンタルスペースにしてほしい。	1件	▲	他の放課後児童クラブと同様に、施設の性質上、貸出は想定していません。(貸出できる様なスペースもないため。)
4	18	主な使用目的は、放課後児童クラブ、親子の遊び場だが、お年寄りの方も含めみんなに開かれた”優しい施設”であると思う。	1件	▲	他の放課後児童クラブと同様に、施設の性質上、貸出は想定していません。(貸出できる様なスペースもないため。)
5	19	興味がある子は、習い事ができたらいいと思う。(英会話とか音楽系とか先生を呼んでできること。)	1件	◆	建築計画に関することではないため参考意見といたします。
5	20	雨天時の体育館使用に関しては、ふれスク、地域の方の利用等と調整が必要になるのかと思う。	1件	◆	建築計画に関することではないため参考意見といたします。
5	21	学校の敷地内に放課後児童クラブが新築されるのは親としてとても安心である。子どもが入学してすぐは、慣れない環境で体も心も疲れて帰ってくるので、”ふれあいスクール”の様に「生活する場所」というより、「お友達と楽しく遊べる場所」と思える様な児童クラブがあればうれしい。	1件	◆	建築計画に関することではないため参考意見といたします。
合計			23件		